

洋書輸入協会会報

VOL. 1

NO. 8

昭和42年12月

ポンド切り下げ

数年前から何回もポンドの危機が噂され、其の度び毎に米国の強力な支持で辛じてレートを維持してきたが、今秋始めから情勢が段々悪化し、遂に11月18日にポンドの切り下げが公表されるに至った。

切り下げ率は14.3%と予想された30%より大分少ないものであったが、各国に強いショックを与へ、これに追従して切り下げる国は20数ヶ国にも達し一時は弗に対する不安も起る程であった。この方は目下落着きを取り戻しているようである。

引き下げが我々洋書輸入業者に当面色々の問題を引きおこしたが、更に先き行きのこととして、英米の公定歩合引き上げから我国でも引き締め政策の徹底化が呼ばれ、可成り重苦しい情勢なので、これが洋書販売にどんな影響を与えるか注視する必要がある。（丸善・前島）

ポンド切り下げの概要

10月19日 公定歩合 0.5%引き上げ
 11月9日 更に 〃 0.5%引き上げ
 11月18日 平価切り下げ 14.285% 14.3%
 新 平 価 £ = \$ 2.40 = ¥ 864 (裁定基準相場)
 公定歩合 1.5%引き上げ 8%へ
 IMFへ14億ドルの借入予約 (スタンドバイ・クレジット) の取付
 外国中央銀行と約16億ドルの借款を要求
 米国1オンス \$ 35の金価格維持の声明
 19日 水田蔵相門は切下げないことを声明
 20日 米国公定歩合 0.5%引き上げて 4.5%へ
 カナダも1%引き上げて 6%へ
 21日 ロンドン金融市場再開 ポンド相場反騰
 22日 ロンドン・パリなどの市場で金買殺到

24日 蔵相日銀総裁が公定歩合再引き上げを急がぬことと一致

米大統領 ドルは切り下げない旨声明

12月8日現在 平価切下げの追随国 (8/12/67東銀調べ)
 イスラエル(14.3%) アイルランド(〃) ガイアナ(〃) スペイン(〃) マルタ(〃) パーミューダ(〃) マラウイ(〃) キプロス(〃) ガンビア(〃) モーリシヤス(〃) パルパドス(〃) トリニダードトパコ (〃) ジャマイカ(〃) 英領ホンジュラス、シエラレオネ(〃) マカオ(5%) 香港(5.7%) フィジー(8.8%) デンマーク(7.9%) ニーゼランド(19.5%) セイロン(20%) アイスランド(24.1%)
 切り下げ検討中 ナイジェリア、ガーナ、スーダン
 態度未定 カタール 南アラビア アデン 東カリブ

理 事 会 報 告

11月10日(金) ヘンリー・エム・スナイダー社日本代表者柴田牧人氏出席、新任の挨拶行はる。

会計収支報告提出、検討、承認。

11月20日(月) 英ポンド価切り下げに伴う経済情勢検討のため緊急理事会開催。

11月25日(土) 関西理事出席。其の後の経済情勢分析を行うと共に、パーガモン社の送金額切り上げ通告の電報に対し抗議文打電を協議。

11月29日(水) パーガモン社の電報につき其の処置を検討。12月6日日本出版クラブに於て懇談会開催し現在迄の情勢報告を行うことと決定。経営研究委員会主催の講演会開催を承認。

総務委員会報告

12月5日委員会開催。ボンド価切り下げに伴う運賃値上げ等の業界に与える影響について検討。

文化厚生委員会報告

◎11月12日（日）東洋大学に約1,000名の同好者が参集して開催された「開書同好会全国大会」に、協会開書部より2チームが出場。A2クラスは健闘して3回戦まで勝ち抜いたが、惜しくも4回戦（これに勝てば準決勝進出）明大チームに敗れた。

関西支部だより

○11月6日 Hachette の Mr. Levy 氏来阪。2時より協会事務所に於て会員有志と懇談。

出席者は独聖書院（坂本）梅田書房（山内）海外書籍（北川）北尾新社（山田）北尾貿易（岡田）旭屋書店（鈴木）

○11月14日 役員会 PM6:00-8:00 和田支部長（旭屋）以下6社出席。

年末年始の行事、価格査定、至成堂入会申込の件について協議。

○11月21日 例会開催（19社出席） 12月例会は休会とする。価格査定に関しては証明書発行規定案通り実施する事。

至成堂入会申込の件は協議の結果理事会に申請の手続を取る事とした。

ボンド平価切り下げについては当分の間事態を静観すること等を決定。

○11月25日 ボンド平価切り下げによる情勢分析について緊急会議 PM6:00より開催（11社出席）。 以上

東海懇談会だより

42年度も残り僅かとなり、本年度の締めくくりにして忘年会とリクリエーションを兼ね、下記議題による懇談会を催したいと存じます。年末にてお忙しいこと、思いますが、何卒万障お繰合せの上ご参加下さる様お願い致します。

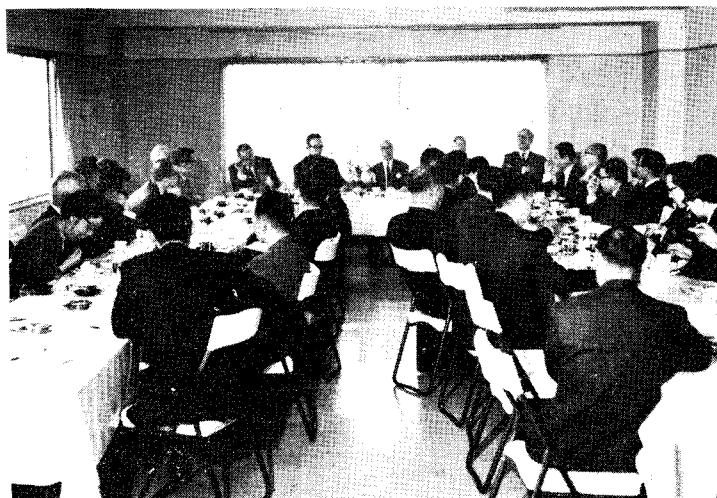
記

議題 1. 本年度を振り返って 2. 来年度活動方針と予算の企画 日時 12月8日～9日

集合場所 栄町ジャルダン（丸善ビル地階） 集合時間 午前11時 行先 下呂温泉

懇談会報告

12月6日（水）日本出版クラブに於て31社45名参加のもとに、今回のボンド価切り下げに伴う経済情勢の検討、パーガモン社の電報の件等につき理事会報告と共に各位の真剣な討議が行はれました。



懇談会風景

メクレンブルグ商会 鈴木氏撮影

雑誌欠号委員会報告

外国郵便物についての出版業者関係打合せ会が東京中央郵便局外国郵便部の主催により11月24日午前10時半より午後1時まで中郵一会議室にて行われました。

本会が特に設けられましたのは、当輸入協会が今春から交渉して来ました誤配問題に端を発しており、この度分科会として、これ等の諸問題を中心に局側の業者への協力願いと意見の交換の場となった次第です。

参加者は局側が郵政省国際業務課・東京郵政局一郵便課・東京中央郵便局外国郵便部の各関係者に対し、業者側は二、三の輸出業者の外当輸入協会員として雑誌欠号委員会担当社および丸善、紀伊国屋書店でした。

本会の主議題は、外国郵便物のうち印刷物の輸出および輸入の取扱い方で特に

- ① Bulk Mail のあらまし
- ② ローマ字による名あての記載方法

③ 外国郵便物事故担当者からのお願い

上記について局側の説明および質疑応答がなされました。上記三題についての局側の説明は別記事の通りです。

会議後廃棄処分について中郵会計課を訪れ説明を求めましたところ、やはり入札形式（入札参加は古物取扱登録者に限られます）で処分されています。外国書籍は1回につき10冊位あり、反古誌についてはトラッカー一杯分あるそうので当日は処分後のため現物を見ることは出来ませんでした。ひと度会計課にまわされたものは必要品のみの抜き取りは不可能のようです。従って外国郵便部にあるうちは、そのものを証明できる書類によって引き取ることが出来ませんが、実際には保留期間や吾々の手間等で難かしい面があります。いずれにせよ后日廃棄分を見学し、価値あるものが多いかどうか調べたいと思っております。

（海外出版・三原）

記

外国郵便事故担当者からお願い

昭和42年11月24日

東京中央郵便局外国郵便部

外国郵便の事故を担当していて、日頃気の付いた事項のうち外国来印刷物について出版業者の皆様をお願いしたいことを次のとおりまとめてみました。この打合せ会の機会に是非ご協力方をお願いしたいと存じます。

1. 大口の書籍、雑誌などで、名あて人の住所氏名の一部或いは全部が脱落したまま到着するものが出た場合は、係員が印刷物を開披して調査します。この場合、名あて人住所、氏名記載のコピーがたいてい入っている西欧来のものはよいが、主として米国からのもので、名あて部分を切り取られた送状を発見する時は本当にがっかりします。（送状の名あて人住所氏名の部分を切り取って郵便物の名あてとして貼付しているから）万一の場合のため、このような送状にも必ず名あて人住所氏名を記載したものを付けてもらうよう差出人へ要請したいものです。
2. パルク・メール（特別郵袋印刷物）で中の印刷物に名あて人住所氏名の記載のないものが時々ありますが、これも必ず記載してもらいたいものです。このパルク・メールの名あて票が落ちた場合に必要のこと、票札のつけ違いなどの誤配を防止することにもなります。
3. 以上の大口印刷物で名あて人住所氏名札が落ちて、どうしても名あて人が発見出来ない時は、書籍名などで可能性のありそうと思われる日本洋書輸入協会員の所へ電話照会することがありますが、判明しないことが多いようです。

そこで前記協会員の皆様の主たる書籍の輸入先（国名

及び社名）、文学、医学などの取扱傾向、またこの（外国出版社）代理店であるか等のリストがもらえるならば、照会の手掛りとなるので非常に有難いのですが。

4. 単冊の雑誌などの小口印刷物は前記協会員扱いのものが多くありますが、これの機械による発送上の問題は、皆様及び郵便物で気が付いたところで差出人へ注意することとして、名あて不完全で配達不能となるものが相当にあるので、これの防止については研究の余地が充分あると思います。
5. 前記4と関連しますが、予約を受付ける洋書輸入協会員の皆様が、受付けた注文票の日本字からローマ字に転記する際に発音に注意しないと、とんでもない名あてになることがあります。例えば、最近 IKUTA SHI というのがありましたが、大字町名で確認した結果、埼玉県^{よこた}行田市名あてであることが判明し、送付したものであります。市、町、村大字町名及び受取人氏名などで、これに類似のケースが時々あり、不着の一因ともなりますので、注文を受付ける際住所氏名に「ふりがな」を付けるよう注意しては如何がでしょう。
6. 未着申告のうち、継続しているものも時々あるようですが、これはたいてい差し出しの名あて書きに欠陥があるものと考えられますので、発送元に問合せる際、発送の有無だけでなく、郵便物の名あて記載と同じ住所氏名書を送ってもらって、それを確かめて下さい。たいてい発注と相違個所があると思います。

ローマ字による名あての記載方法

ローマ字による郵便物の名あて、とくに外国あて郵便物に記載する差出人の住所氏名（リターン・アドレス）の記載順序が統一されていないため、外国来郵便物の名あての記載方が多種多様となり、郵便局での郵便物の取り扱いに支障が生じています。そこで、このたび郵政省で、一般慣習、外国郵便の特殊性、配達上の便宜、新住居表示制度の拡大等を統合的に検討した結果、その記載方法を下記のとおり統一することになりましたので、今後外国あて郵便物のリターン・アドレスの記載方について特に注意していただきたいと思います。

1 ローマ字による名あて記載における各行の配列

- 1 行目 名あて氏名
- 2 行目 町名
- 3 行目 名あて地名
- 4 行目 国名

（注）町名には、丁目、街区符号、住居番号等を含む。

(1) 名あて氏名の記載

（例）山 田 太 郎
Taro Yamada

(2) 町名欄（街区符号、住居番号、丁目等）の配列。

例

ア、住居表示が実施されている場合

（ア）記載順序は、街区符号、住居番号、町名（丁目を含む）とする。

（イ）街区符号および住居番号は分離せずハイフンで結びその後ろにカンマをおく。

（例） 7 番 2 号
7-2,

（ウ）いわゆる丁目は、住居表示においては町名の一部となっているので、内国郵便と同様そのまま記載する。

（例） 武田 3 丁目
Takeda 3 chome

（エ）全体の記載は、次の例のようになる。

（例） 武田 3 丁目 7 番 2 号
7-2, Takeda 3 chome

イ、住居表示が実施されていない場合

（ア）記載順序は番号・町名・丁目とする。

（イ）番地は数字をそのまま記載し「No.」記号はつけない。

番地の後ろにカンマをおく。

ウ、丁目は町名の後に記載し、住居表示にならない Chome を付記する。

（例） 西銀座 1 丁目 7 番地
7, Nishiginza 1 chome

(3) 名あて地名の記載

ア、行政区のあるところでは行政区名、都市名の順に書き、この間にカンマをおく。

（例） 東京都杉並区
Suginami (ku), TOKYO

（注）（ ）は必ずしも必要ではない。

イ、ア以外の場合、都市名（郡を含む）県名の順に記載する。

（例） 山梨県甲府市
Kofu, YAMANASHI

ウ、都道府県名は、大文字で記載する。

(4) 国名の記載

大文字で記載し、字下線をひくことが望ましい。

（例） JAPAN

3 参考例

(1) 住居表示の場合

山梨県甲府市武田 3 丁目 7 番 2 号
山 田 太 郎

Taro Yamada
7-2, Takeda 3 chome
Kofu, YAMANASHI
JAPAN

(2) 住居表示でない場合

東京都練馬区上石神井 2 丁目 1779 番地
川 中 浅 夫

Asao Kawanaka
1779, Kamishakujii 2 chome
Nerima (-ku), TOKYO
JAPAN

(3) 郵便私書箱あての場合

東京都芝郵便局私書箱 18 号
東京貿易株式会社

Tokyo Trading Co., Ltd.
P. O. Box 18, Shiba
TOKYO
JAPAN

洋書こぼれ話

明治回顧 (四)

福本初太郎

外来思想とベストセラー

号砲一発鎖国の夢を破られ、広く世界の舞台を見た、当時のわが国の有識者層の驚きは想像にあまりあるというべきでしょう。怒涛のように押し寄せる思想の流れは精神界、自然界を問わず、わが国固有の思想を根こそぎ揺り動かし、それを修正したもの、そのまま土着したもの、或は葛藤のすえ排撃されたもの枚挙に暇ありません。

私は、ここに当時の「ベスト・セラー」を書くので、名著を書くつもりはなく、名著必ずしも「ベスト・セラー」とは申せません。「ベスト・セラー」とは、内容そのものの価値というよりは時流に適合し、ある期間中に相当の部数が読まれた本で、現在では全然顧みられない本も多々あります。それにひきかえ、出版後何十年経っても絶えず読まれる本なれば大体名著……、というよりは、名著なればこそ何十年経っても常に読まれ、後世に無形の遺産を残すといったほうが適当でしょう。

さて、私は「ベスト・セラー」を便宜上次の六項目に別け、記憶をたどって書いてみました。

「キリスト教」、「社会主義」（共産主義を含む）、「進化論」、「自由民権」、「富国強兵」、「婦人解放」。この外、文芸方面に於ける「自然主義」、「人道主義」、「恋愛至上主義」等、また理工科方面に於ける純粋科学や、応用科学、さては医学、薬学等に於ける「ベスト・セラー」も調べてみましたが、あまり範囲が広がりますので、これ等は次の機会に譲ることにしました。

「キリスト教」

Augustine, A. : Confession.

Bunyan, J. : The Pilgrims Progress.

Barth, K. : Der Römerbriefe.

Calvin, J. : Christliche Weisung.

Dorner, A. : Grundriss der Religionsphilosophie.

Drews, A. : Die Christusmyth. 2 Bde.

Eucken, R. : Hauptproblem der Religionsphilosophie der Gegenwart.

—— : Wahrheitsgehalt der Religion.

—— : Können wir noch Christen sein?

Feuerbach, A. : Das Wesen des Christentums.

Harnack, A. : Das Wesen des Christentums.

—— : Lehrbuch der Dogmengeschichte. 3 Bde.

Höfding, H. : Religionsphilosophie.

Hilty, C. : Das Evangelium Christi.

Hartmann, Ed. : Grundriss der Religionsphilosophie.

Heim, K. : Glaube und Denken.

Kant, I. : Die Religion innerhalb der Grenzen der blossen Vernunft.

Kierkegaard, S. : Krankheit zum Tode.

Leibniz, G. W. : Die Theodicee.

Luther, M. : Tischreden oder Colloquia.

—— : Von der Freiheit eines Christenmenschen.

Otto, R. : Das Heilige.

Pascal, B. : Pensées.

Pfleiderer, O. : Religionsphilosophie.

Renan, E. : The Life of Jesus.

Strauss, D. F. : Das Leben Jesus. 2 Bde.

Swedenborg, E. : Heaven and its Wonders.

Schleiermacher, F. E. D. : Über die Religion.

Spinoza, B. : Der theologisch-politische Traktat.

Sohm, R. : Kirchengeschichte im Grundriss.

Schubert, H. : Grundzüge der Kirchengeschichte.

Seemann, O. : Mythologie der Griechen und

Römer.

Starbuck, E. D. : The Psychology of Religion.

Troeltsch, E. : Protestantisches Christentum und

Kirche in der Neuzeit.

—— : Die Absolutheit des Christentum und die Religionsgeschichte.

—— : Bedeutung des Protestantismus für die Entstehung der modernen Welt.

Thomas à Kempis. : On the Imitation of Christ.

Werner, M. : Das Christentum und die monischen Religion.

Weiss, D. : Lehrbuch der biblischen Theologie des Neuen Testaments.

Weber, M. : Die protestantische Ethik und der Geist des Kapitalismus.

「キリスト教」の項おわり

古書界から見た外国書

鴨 志 田 三 郎
(進 省 堂 店 主)

世界が近く、「スピードの時代となり、欧米ともに内地旅行とあまり変わりなく、気軽に洋行、英国・米国・ヨーロッパ諸国へと飛べる良き今日、昔の洋書・原書と称した時代と非常に貴重度が変った事は、あまりにも事実である。明治初年の貴重な一冊の舶載本を買求め持帰り、何カ所の出版屋さんから、同じ書物を何千冊も複製して販売した書物が数百種とある。その貴重さ、また需要が思われるのである。

代表的な例をあげると、過日しらべた物にバーンズの「ニュー・ナショナル・リーダー」1—5巻がある。驚くべき事に16種も有るので最高と思う。何れも版を重ねて売られている。又その他スキントン「萬国史」、大英文典、「小英文典」、パーレー「萬国史」、ネス「英国典」、「英作文」、カッケンボス「文典」、「米国史」、スミス「大代数」、ウィリアムス「微積分学」、ホーサイス「方程式」、トドハンター「三角法」、ガウス・チャンパー「対数表」等、辞書ではウェブスター「英語大辞書の鰹刻版、又当時鰹訳も英和大辞典の大半はウェブスターから生まれたのである。その出版数も多数である事に今更驚く程である。

大正時代と昭和の初期は、洋書の丸善と新古共に丸善の独占に近く輸入されて居ったが、戦後の今日自由貿易で、輸入会社も数多く、各自に自由の立場で自由に輸入し、ますます活潑となる。

洋書の業者も多くあり、古書の出廻りも数多くなった。読者も学者も学校も図書館も研究所も増加して、名著の最も質の良い書物等にしばられて、駄本には目もくれない、と云った現今であるからして、1967年最新の「大百科辞典」揃新本価格20万円もするのが、7・8万円にて数物の如く出廻る。1966、一年前の版だと半分位と云った有様です。戦前は10年間に一度改訂版を造るその間は内容の改訂もないので、相場も保ったが、今日では毎年改訂される程のスピードさにて、相場を保つ期間がない。

古典ものは、その点新版が出来ない限り、相場も保つし、貨録も有る。アダム・スミス「国富論」初版30万円と

云った具合。又初版本、英文学、詩集等の名著は驚くべき値が附けられる。その相場も世界的な価格に評価される様に成り、日本の水準も高く、国際的に評価されている。日本の学界が世界に学術報告する、その資料を扱う業界も良い書物を豊富に揃える。ますます大学も増設され、学識も高まる。そういう学界に備へ、研究家に備へ、努力が必要である。世界各國の語学も盛んになり、かつて見た事もない同の語学の書物もどんどんと出廻り、扱う事に成ると思う。業者も業界もまごまご出来ない時代、各國の文字位勉強して書名位は解釈出来ないと、洋書の店として任務を果たす事が出来ない事に成る。世界の書物を扱う店、会社、又専門に扱う店、英・独・仏・米・露・西・伊・北欧諸国語・アフリカ諸国語・中近東・中央アジア・北方アジア・東南アジア諸国語等の書物とか、各店特色が必要となる。勿論将来それも近く変化を見る事は明らかと思う。印度語だけでも文字の違う書物が何十種も有る。民族と宗教によって文字、言葉が全然違うので有るからして、アフリカは勿論の事、将来の書店は語学力も学識も一般以上に必要となる。過去は英米独仏語位にてごまかしが出事たが、最近最大に必要と成ったソ連語、スペイン語、アフリカ諸国語、中近東語、東南アジアの諸国語等、日常に目立つ有様です。業界としても此の必要と成る文字及び言語を若い人達（社員、店員）にいかにか教育すべきかを考え、良き指導者を選び、将来の業界を望むべきと思う。

世界があまりにも近く、地球がせまく成った今は、世界が隣組と云った工合と成り、書物の流通も、はげしく出入する商品であるが、なんでもかんでもやたら輸入する事は考えてほしい。特殊な国語の書物で日新しいので、始めは飛びつき売れたが、極めて少数の学者に限定され、英米独仏露の書物と比較にならない。倉入される書物は各店共に非常に多い。此の上の倉入は無駄で有り、又国家的に大損失である。誠に誠にむづかしい商業で有り、趣味と教養と資本と忍耐の最大に必要なとする職業である事を忘れる事が出来ない。

会 員 紹 介

近代医学への草分け 株式会社医学書院洋書部

先代金原寅作氏が医学書の輸入をはじめたのは明治14年のことであった。最も古い洋書輸入商の一人であろう。当時は医学書を専門に輸入する業者は殆んどなく、まさに日本の近代医学の輸入と店の発展とが並行していった時代であった。この数十年の間、ドイツ医学書を中心に、日本に輸入された外国医学書の数は想像以上に大きい。やがて昭和19年企業整備令により医学書の業界は再編成され、現在の医学書院が設立された。医学書院が戦後洋書輸入業務を再開したのは昭和27年があり、創業以来の医書出版業に加えて医学書専門の輸入業務を行い今日に至っている。

医師のみならず薬学・歯科学・看護学に従事する人々にも洋書を通してサービスすることが医学書院洋書部の使命である。専門分野の出版物については、専門知識が必要であり、狭いが深い知識がないと十分なサービスは出来ない。しかし、一方医学も生物学・物理学・化学・数学・工学・心理学等々の基礎学や周辺の科学の方向へ急激にひろがりつつあり、読者に充分の満足を与えるためには、業者も、もっともっと勉強しなければならない状態にある。なお、洋書部の事業の一つに医学書のリプリント版出版がある。現在発行点数は24点であり、日本のみならず、アジアの医学生から好評である。

海 外 ニ ュ ー ス

ボンド切り下げと英出版界

輸入業者並にアメリカの会社の英国内子会社への影響として、次の情報が寄せられている。

Addison-Wesley はすべての本の約15%値上げを発表する。

W. H. Allen は Museum of Modern Art Series (1ドル=8シリングの換算率)の現在の価格体系を維持する。

Pall Mall Press は12月1日以後受けた注文の輸入書の価格をあげる。

従来1ドル=7/6の換算率だった University of Chicago Press, Columbia, Yale は 9/- となる。この値上りは約4,000点に及ぶ。[Bookseller 67—11—25]

I. P. C. と Butterworths

(編者註: 英国 Butterworths が売りに出ている模様)

Butterworths 社に対するアメリカ出版グループとの対抗入札は10月31日夜行われたが、英国 International Publishing Corporation が落札した。Pergamon の £5,300,000 に対し、Crowell-Collier と Macmillan は

£6,500,000 以上の入札価格を附けたが、結局 英国側が Butterworths 入手に成功したので、Butterworths の Richard Millet 会長も Pergamon もこの結果を喜んでゐる。なお、I. P. C. の入札価格は £6,600,000—£6,750,000—£6,800,000 と色々に見積られている。

[Bookseller 67—11—14]

イギリスのペーパーバック

Whitaker 刊行の Paperbacks in Print, 1967によると、過去7年間に、(1960年6月から1967年10月までに)出版点数は5,886点から28,125点に、また Paperbacks の出版社数は100社足らずから661社に増加した。

[Bookseller 67—11—18]

(6月) 1960	(4月) 1964	(12月) 1965	(9月) 1966	(4月) 1967	(10月) 1967
		17,737	22,240	25,121	28,125
(小説合計) 2,311	3,887	4,496	5,433	5,766	6,309
(その他) 3,575	8,566	13,241	16,807	19,355	21,816
5,886	12,453	17,737	22,240	25,121	28,125

— 紀伊国屋書店提供 —

NEWS 欄

- 米の Feffer and Simons 社及び Franklin Square Agency 社の東洋代表として Mr. Donald Traynor が着任された。
- 同米の Collier-Macmillan International 社の日本代表であった矢沢静子さんは今般退職されました。
- 11月上旬、ポーランドのARS Polona, Foreign Trade Enterprise より Mr. Edmund Ronowicz 来日。
- 11月中旬、United Nation の Sales Office in the Publishing Service より Mrs. Arsenia Bishop 来日。
- 11月中旬 Melbourne Univ. Prees の Assistant Director の Mr. J. A. Byth 来日。
- 11月下旬、米のScott, Foresman and Co. の Manager of International Sales である Mr. John T. Holmes 来日。
- 同米の Frederick A. Praeger, Inc. の Export Manager である Mr. Alexander Schleber 来日。
- 全英の Collins 社の Mr. R. H. Stevens 来日。全社は、来年より Mr. Raymond Li を極東代表とし、Stevens 氏は、定期的日本訪問をやめ、必要時の巡回にとどめることとなる模様。

お知らせ

次の通り町名番地及び電話番号変更通知がご座いましたので、お手許の会員名簿の訂正をお願い致します。——訂正箇所

(株)旭屋書店

大阪市北区曽根崎中1~57

(株)海外書籍貿易商会

大阪市東区高麗橋244~日の出ビル 電話(231)2851-5

同 東京営業所

電話(662)9851-4

丸田洋書貿易株

京都市中京区西ノ京中御門西町23

丸善(株) 京都支社

電話 (24) 2161

同 神戸支社

電話 (39) 6001

(株)臨川書店

電話 (78) 6166-9

有隣堂(株)

電話 (261) 1231

会報委員会より

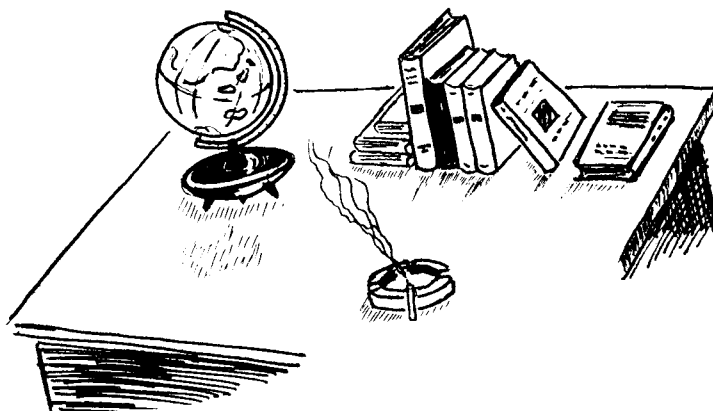
会報発行が決定され、委員会が発足してから早くも9ヶ月を経過し、8回の発行を欠号もなく重ねることが出来ました。これもひとえに会員各位の御援助と、委員会メンバーの手介当の御活動のたまものと感謝しております。

昭和43年に入りましたら、巻数を改めて Vol. 2 とし、No. 1 より始める予定ですが、紙面を益々充実するために、ニュース的なもの、業界を前進させるための御意見、その他随想的なものでも結構ですから、御投稿を御願ひ致したいと存じます。尚、経費節約のために、広告も廻り持ちのような形で御願ひ致しますから、その節は宜敷く御協力下さいませ。

いずれにせよ、会員各位の貴重な会費によって作られている会誌ですから出来るだけ各位の御役に立つように、今後益々努力していく所存です。

良い年を御迎えにならんことを御祈り致します。

(相良記)



昭和42年12月 第8号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重
 東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室 電話271-6901
 関西支部 大阪市北区芝田町28 芥一山中ビル 電話371-5329